

酒類・食品 & News 解説

週刊

令和7年2月28日(金曜日) 第3435号
(昭和42年7月10日第3種郵便物認可)
毎週金曜日 発行 編集発行人 石母田 健
購読料 6ヵ月 15,730円(税込み)
振替番号 東京4-71739
発行所 株式会社日刊経済通信社
本社/東京都中央区日本橋小伝馬町10番11号 日本橋府川ビル9階
☎03(5847)6611(代) FAX 03(5847)6600
名古屋支局☎052(253)6924 大阪支局☎06(6353)1791
<http://www.nikkankeizai.co.jp/>

1月のアイス3%増

新商品が店頭を活性化

本紙調

1月のアイスクリーム市場は約3%増(本紙調)。4月からの累計は5%増。1月の各社実績は次の通り。

ロツテは2%増で市販用は1%増、業務用は19%増。新商品の発売日ズレにより「クーリッシュ」「ガーナ」が苦戦したが、「モナ王」がランキーが純増し、マルチアイスが伸長した。「クーリッシュ」が15%減で、「バニラ」が10%増、「ベルギーチョコ」が2%増、「コーヒ」が46%増、「飲む贅沢練乳」は前年並み。「爽」が5%増で、「バニラ」が7%減、CVS限定の「贅沢濃厚バニラ」も好調、練乳いちごが13%減、「生チョコinバニラ」が14%増、「ラ・フランス」はほぼ2倍。「モナ王」が42%増で、「バニラ」が22%増、「宇治抹茶」が36%増、「マルチ」が1%減、「克蘭キー」は純増。「雪見だいく」が1%増で、「バニラ」

が5%増、「ココのシヨコ」が44%増、「ミニ雪見」が4%増。「レディーボーデン」が1%増で、「パイン」が5%増、「ミニカップ」が4%減、マルチが7%増。「ガーナ」が27%減。「バニラバー」が2%減。「ハーシー」が19%増。「ドール」が35%増、「カルピス」が24%増。

江崎グリコは前年超え。「パピコ」「アイスの実」「バナップ」「SUNAO」が前年を下回ったものの「ジャイアントコーン」「牧場しほり」「セブンティーンアイス」がいずれも伸長。マルチは420円層+OP、610円層が前年を上回ったものの、550円層が前年を下回り、マルチ全体も前年割れとなった。森永乳業は14%増。「パト」が4%増。「バイン」が10%超の前年超

ルム」がSKU減のため3%減、定番チョコはノベルテイ、マルチとも大幅伸長。「ピノ」は31%増で、「バニラ」「アソート」が好調を継続し、「沼いちご」が上乗せ。「MOW」は45%増で、「PRIME」好調に「リッチチョコ」がオン。マルチその他は52%増で、「リプトン」マルチ、「クッキー&クリーム」が大きく伸長。このほか、ライセンズ契約終了により「ビエネッタ」は3月末で終了する。

ハーゲンダッツジャパンは12%減。昨年「クリスピー」をリニューアルしベースが高く、新商品の月ズレもありマイナスとなった。「ミニカップ」が3%減でコア3品が1%増、主力8品が2%減。「アソートボックス」が14%増。「クリスピーサンド」が47%減。「バー」が4%増。「バイン」が4%増。明治は10%超の前年超

主な内容

タカラ「発酵蒸留」サム	2面	森永「ワタシの腸」	7面
「ボリスハイ」やわらか	3面	24年のみそ出荷量	9面
サリン 徳大工場へ65	45面	醤油板橋取締役に聞く	14面
サクラアワード審査会	15面	家庭用冷凍麺市場	1213面
		三菱食品業務用展示会	11面
		◎原料商品情報	8面

の取り扱いがアップした「ビスケットサンド」が約1.5倍に伸長し、同様に「アイスボックスGF」「板チョコアイス」「ザ・クレープ」も2割前後の増加。「サンデーカップ」が前年超え、「パリパリバー」は前年並み。

【記者の目】

1月の天候は冬型の気圧配置は長続きせず、寒気の影響が弱かったため、月平均気温は北・東・西日本でかなり高くなった。アイスクリームの商況は、昨年1月も11%増と伸長したが、好天と店頭を活性化した新商品を背景に高い実績をさらに上回った。新商品では中・高価格帯のアイテムも健闘。消費者が生活防衛意識を高める中でも、アイスクリームは「価格に合った価値」が評価されている。

(館山カ)

ヒゲタしょうゆ
おいしいつゆ
スープに

